

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和3年度第3回会議 会議録(概要)

●日時 令和4年1月26日(水) 午後2時00分～午後3時30分

●場所 江南市役所 3階 第三委員会室

●出席委員(17名)

会長 石井 進	委員 西部 茂夫
委員 尾関 委代子	委員 多湖 直希
委員 古田 みちよ	委員 川合 龍司
委員 前田 義和	委員 尾関 眞
委員 森 ケイ子	委員 古田 一二三
委員 八木 幸男	委員 岩井 喜美子
委員 中島 伸二	委員 黒岩 弘子
委員 高木 則雄	委員 阿部 枝美子
委員 松浦 大介	

●欠席委員(4名)

副会長 埴田 惣一	委員 大島 孝允
委員 大塚 毅彦	委員 中西 健仁
委員 木村 嘉宏	委員 秦 公輝
委員 富山 賢二	委員 大岩 直文
委員 望月 晴夫	

●事務局

環境課 課長 牛尾 和司
環境課 主幹 前田 茂貴
環境課 主任 米嵩 浩之

●会議経過

開 会

●事務局

本日は、「令和3年度第3回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様おそろいでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、感染へのリスク削減のため、スムーズな進行にご協力をお願いいたします。

それでは、以後の会議の進行を、会長にお願いしたいと存じます

●会長

江南市廃棄物減量協議会の会議は、一般の方にも公開しております。本日は傍聴を希望する方がお見えになります。

「江南市審議会等の設置及び運営に関する指針」第7条第2項の規定により、傍聴に関して必要な事項は会長が会議に諮って定めることになっておりますので、委員の皆様にお諮りします。

会議の傍聴に関して異議のある方はいらっしゃいますか。

<異議なしの声あり>

異議なしとのことですので、傍聴人の入室を許可します。

●会長

それでは、議題に入らせていただきます。

議題①「江南市のごみ収集体制について」、事務局より説明をお願いします。

事務局説明

ただ今、江南市のごみ収集体制につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

●委員

各市町を紹介している表がありますが、全てのパターンの市町を選んだわけではないはずですので、この市町が選ばれたということは理由があったのでしょうか。

それからメリットデメリットを考えて意見をあわせることはとても有意義な話だと思いますが、メリットデメリットというのは立場によって違うと思います。例えば各市民のごみの出す立場で言えばとにかくごみの出し方が便利というのはメリットであり、立ち当番はデメリットですが、逆に収集する側の立場であればコスト面でのメリットデメリットが逆転する。立場によってメリットデメリットが違うというのがあるので、それを同一に扱っていても收拾が付かないと思います。

また、例えば予算的な話も関係してきます。贅沢を言えばリサイクルステーションをたくさん作って、毎日開設してほしいとなります。市側からしてみれば予算的にできませんということもあるでしょうし、具体的な目安があればもう少し話がしやすいと思いました。

●事務局

どうしてこの市町を選んだかという点ですが、できる限り近隣市町で分かりやすい所を挙げさせてもらったという回答になります。また、江南市と全く同じケースでは示す意味がありませんので、江南市と違った点がある市町、また、碧南市と知立市に関しましては立ち当番を実施していないという点。笠松町は無人のリサイクルステーションを開設しているという話を聞きましたので、こちらの方も挙げさせていただきました。

メリットデメリットを挙げるに際してどういった立場、どういった範囲で挙げたらいいのかという質問だったと思いますが、先ほど申した通り率直な意見で構いません。コスト面については考えなくていいとは言えないですが、ここには市民の立場の方もいらっしゃいますし、事業者の立場の方もいらっしゃいます。皆さんの率直な意見をいただければと思っております。

委員

民間企業が各地にコンテナなどでリサイクルステーションを設置していると思います。利用されている方も多いと思いますが、そういったものとの棲み分けというか、民間企業を圧迫する、または、わざわざ市がコストを負担しなくても民間企業の資本によって実施できる部分もある、といった考えもあると思います。市役所はどのくらい設置の箇所をつかんでみえますか。

●事務局

民間企業が設置しているリサイクルステーションですが、道路沿いであるとか、駐車場の一角に設置されていることが多く、以前調査したこともあります。増減することが多いので正確な数は環境課では把握しておりません。

紙、アルミ缶、スチール缶、布類が多いと思いますが、これらの品目に関しては売り払いの対象となっているため民間企業でも回収することができます。しかし、どうしてもプラスチック製容器包装類やペットボトル、廃プラに関しては民間企業で集めるというのは困難かと思えます。スーパー等では売った商品の一部ですので自主回収しているところも多いと思いますが、全市民が排出することは出来ないと思います。回収品目に関しては考えてやっていきたいと思えます。

●会長

無料の民間収集についてはプラスチックについてはやってない、布類等についてはある程度利潤がなければ民間企業は手を引くため、結局市民の排出する廃棄物の受け皿としてやっていかなにといけないという問題が存在する訳ですね。どの程度民間企業と市の分担をするかというのは難しいことだと思います。

●委員

各市町のごみ収集体制では立ち当番有りという市町が多いですが、実情としてどのくらいの仕事量で行っているのか、例えば江南市ですと非常に分別も多く、資源ごみは全てその日に排出するということからかなりの仕事量だと思います。他の市町では袋回収、いわゆるルート回収で、プラスチック製容器包装類やペットボトルが収集されているため品目が少ない。収集品目の数による負担とそれからどのくらいの範囲の世帯数で実施しているのか、何軒で1か所の集積場を利用しているのか、50軒なのか、200軒なのか、そこまで調べていただけるのか、教えていただきたい。

●事務局

本日は資料としてお配りしていませんが、以前に人口に対する資源ごみ置き場の数の方を調べたことがあります。その際には世帯数に対する資源ごみ集積場の数を調べましたので必要であれば次回以降の会議の際にお配りしたいと思います。

立ち当番の話ですが、一宮市では、町内資源回収のみ立ち当番を実施している、これは町内が自主的に行っている回収となっております。品目は書いてあるとおり限られたものです。小牧市ですが、ほとんどの品目を袋収集しているが立ち当番を実施しております。可燃ごみ集積場とは違った集積場において袋収集している箇所が多くあるそうですので、そういったところに間違った収集がないように自主的に立ち当番を実施されている方々が多いと伺っております。

●委員

単純には江南市と同じようなやり方ではないということですね

●事務局

江南市と全く同じではありません。

●委員

新型コロナウイルス感染症の影響で立ち当番に出たくないという人もいるし、仕事やお子さんの関係で物理的に出られないという人も多い。また子ども会、小中学校や PTA も行わない団体が増えた。資源ごみを好きな時に排出できる、排出する機会が多いというのはとても市民としては楽。場所も多いに越したことはない。

昔と違って共働きが多く、高齢者の方は定年過ぎてもお勤めになってらっしゃる方が多いと感じる。そうすると立ち当番の拘束時間を考えると、その穴を埋めるのは地域だけでは難しいです。今は過渡期かもしれませんが、今後人口構造がすごく変わっていくと思います。そうするとこの問題はもっと顕著に発生してくる。おそらくもう目の前です。

だから色々変えていかないといけない。紙の回収は昔はチリ紙交換、少し前から新聞店が自分の配達しているところを回収し始めた。近年は先程話があったリサイクルコンテナが増えてきている。お金になることであれば民間企業はあの手この手で実施していく。しかし、どうしてもお金にならないものは引き取っていかないため行政が回収していくしかない。そうやって売れるごみは減り、売れないごみばかり増えて、市の収入が減ってしまっているかもしれませんが、そういったことは抜きにして一度立ち止まって考えないといけない。出せる人、出せない人の事情がすごく難しくなっていると思う。検討してその中でできることをチョイスしていただけたらありがたいと思います。

●会長

アンケートで、リサイクルステーションを増設して欲しい、日中働いてみえる方も多いですから、日常的に受け皿が欲しいという意見もありますけど、市ではリサイクルステーションの増設について、考えはあるのでしょうか。

●事務局

現在のリサイクルステーションについては平成 29 年 6 月に開設しまして、もう 7 年くらい経ちます。その間色々ご意見いただきまして、環境課としては増設したいのはやまやまですが、一番大きいのは場所の問題です。和田町に作った時には、一度計画して地元と調整してまた調整しての繰り返しでした。一日でも早く作りたいという考えで色々候補を挙げてやっていますけどなかなか前に進んでいかないというところなんです。現時点ではまだ皆様にお知らせできるほど進んだ案

はありませんが市議会でもリサイクルステーション増設の件は出ていますので、一日も早く作って皆さんにお知らせしたいです。

民間企業の回収ステーションの話がありましたが、集めているのは、紙、アルミ缶、布などで、どうしてこれらのみかという、廃掃法において昔からちり紙交換だとか、そういうところで集めていたものは法規制を受けません。逆にペットボトルやプラスチック製容器包装類については一般廃棄物ですので収集運搬には許可があるので、行っていないという側面もあります。以前ペットボトルがかなり高値で引き取ってもらえるという時期がありましたが、許可がないとできないためこっそりやっていたなんて話も聞きます。廃掃法では市町村には一般廃棄物の収集義務というのがあると規定されているため、どこの市町村もごみを集めています。長い間江南市は分別によるごみ減量に力を入れていますが、いろんな方から立ち当番ができないとか、袋収集にした方がなど、そういう話があります。ただこれも、先程新しいプラスチックについての法律の説明がありましたが、海洋プラスチックの問題や地球温暖化の対策で、プラスチックをできる限り減らしましょう、減らせられない部分はできる限り再生していきましょう、ということでプラスチックをただ燃やすだけではなく分別収集しましょうというものです。環境省が全国的にアンケートをとったところ、プラスチック容器包装類ではないプラスチック例えばバケツなどですね、そういった市町村は全国的には1割にも満たない、江南市のように分別しているところはほとんどなくて、可燃ごみと一緒に燃やしたり埋め立てたりしているところがほとんどという結果でした。今後、法律的には義務付けがあるので全国的に江南市の方向性になっていくと思います。決して江南市のやり方がベストだというわけではないですが、これからの時代分別もある程度しなくちゃいけない、たまたま江南市は以前から分別が多かったが、今後は他の市町も同じように舵を切っていくかもしれない。コストの話がありましたが、江南市は29種類の分別をしています。資源ごみを29分別していくと、それぞれに運搬するコストがかかりますし、それぞれの処理にコストがかかるということで、愛知県の平均よりちょっと上くらいのコストがかかっています。それは分別が多いからです。極論を言えば分別を3種類くらいにするとあまりコストかからない。ただ、これからの時代そういった分別は難しいと思う。さらにコストを増やせば現状のように細かく分けて袋収集してということはできると思いますけども、どの選択をしていくのか、今まで

のいい所を残しながらやっていくのか、大きく方向転換するのか、この答えはすぐに出ないと思う。ただあまり悠長なことは言っていられない。私は環境課に10年いますが、ここ3、4年の間に多くのご意見が来ています。市長も市民の声は気が付いています。こういう場ですので、ご意見たくさんいただいて、逆に委員の方から調査依頼ありましたら調べます。色々な情報も提供しますのでぜひよろしくをお願いします。

● 委員

リサイクルステーションの件ですが、民間企業が設置する際に行政が設置するものとバッテリーしないように問い合わせするなどそういう形はできないか。行政の代わりに民間が回収してくれれば問題はないのではないか。コストは当然かかりますけど、資源ごみはお金になると思うため、それで回収場所が増えれば住民は当然便利ですし、行政はお金がかからない、3者丸く収まるのではと思うがどうか。

● 事務局

ご意見ありがとうございます。心配なのは民間企業は儲からなければすぐ撤退してしまいます。撤退した場合に、それまで民間企業が担っていた資源ごみ回収の責任をどうするのか、一般廃棄物の収集運搬処理については市町村の責務ですので、そこをどういう風にしていくか、委員が言われたように、協力いただくというのはもちろんいい話なので、検討していきたいと思います。

資源ごみは世界的にお金にならないということと、民間企業に任せると撤退したときにどういう責任を取るのかということも、十分検討していきたい。

● 会長

廃プラスチックの問題が大きいと思う。容器包装リサイクル法のルートを活用した再商品化というのは検討されていますか。

● 事務局

プラスチック製容器包装類というのは容器包装リサイクル法に基づいて収集運搬処理しています。簡単に説明しますと法律で決められている、特定事業者例えば市内だとサンハウスや森永乳業がプラスチック製容器包装については処理費用を99%負担するという法律になっており、市

町村の負担は1%です。ただし処理してもらうには分別をちゃんとして収集してベールという大きい塊にして国に渡すという形ができていないといけないので、そこにはコストがかかっています。今回の法改正で容器包装ではなく製品プラスチックいわゆる廃プラで捨てているようなものについては同じルートで行うが、処理費など経費は全て市町村負担となっています。江南市ではすでに、廃プラは分別収集して固形燃料化しているので、そのルートに乗るかどうかはよく考えなければいけない。容リ協ルートで流そうとすると、前年度の10月までに申込みが必要なので、法施行される令和4年4月からは実施できる自治体はまだない。

●委員

前回の会議の後に江南団地の中で当番に出てきてくれた方たちにアンケートを取りました。私も驚いたが、全部で5回の中でアンケートに答えてくれた人86人いましたが、そのうちの半分は仕事をしている方だった。86人のうち44人が仕事をしていて、44人のうち休暇を取ったのは14人で、終わってから仕事に出かける方は23人だった。仕事持っている人たちが出てきて、休暇も取って出てくれている。それだけ皆様協力してくれているとそういう思いです。しかし、実際には仕事をしているため当番に出てこない方が多いです。問題はアンケートに答えていない、出てきていない人たちです。もちろん仕事があるから出れないのは当たり前で仕方がないことだと思います。ただ感情的にはコミュニケーションの話になりますが、出てくる人と出てこない人の間で、あの人はいつも出てこないという感情になってしまっても仕方がない。隣近所で。そういう関係が出来てしまっているという懸念がある。

今までになく資源ごみの問題について意見があるっていうのは、時代が大きく変わってきていて、1人暮らしの高齢者が非常に増えてきていて当番回ってきても出られないひとたちがほんとに多いのです。

他の市町の状況も、紙の上だけでなく、直接見に行ってみるとか、そういうこともやってみる必要があると思います。また、何をもって低コストなのか高コストなのか、全然わからない。だから実際にどのくらいコストがかかるのかを出していただきたいなと思います。

それと、こないだ資料として送っていただいた江南市の清掃事業概要ですがその統計の中にもコストの話が全く無い。作る以上は江南市がどれだけの費用をかけて、この資源回収の為にどれ

だけの費用がかかっているのか、具体的に一つ一つの中に委託料どれだけかかっているのかとか、処理費にどれくらいかかっているのかとか、そういうことがもう少し分かるように出していただくと私たちもまたいろいろ検討していくうえでいろんな判断ができるかなと思います。ぜひ立ち当番の問題については集中的に方向性を出すためにもう少し、スピードを上げて結論出していきたいと思います。

●委員

知立市では、パート職員が巡回している。平成31年4月から立ち当番を廃止したとある。これについてもパート職員が何人でやっているのか、分別品目など、知立市は何品目やっているのか、次回までに調べていただきたい。近隣市町が特に気になるので一宮市、小牧市岩倉市の状況をもう少し何品目くらいの分別か、ごみ袋がいくらなのかというのも、次回までに調べていただきたい。この会議で練っていくことが大事だと思いますので、何回か会議を行い内容を詰めていく必要があると思いますので、よろしくお願いします。

●事務局

今二人の委員の意見のとおり、もっとこの会議で議論をした方がいいと思います。本日ももっと時間をかけて議論したいですけどこのコロナ禍でなかなか長時間はできないという状況です。ですので、ご意見がありましたら、事務局の方へ連絡いただければ対応していきたい、皆さんの意見として、資料が必要だとか、ぜひお願いします。

この機会に紹介したいと思いますが、先日、瀬戸市議団が視察にお見えになりました。江南市は長い間、1人当たりのごみ量やリサイクル率が愛知県下のなかでもトップクラスであるため瀬戸市もそういうことを目指しているということで視察にお見えになりました。瀬戸市は分別区分が少なく、それを細かく分類するとお金がかかるためどうやっていきますか？立ち当番は？というところと説明しましたが、最後にここ数年立ち当番など収集体制についてかなり意見あるため廃棄物減量等推進協議会の方で検討始めたところですよという話をしたら、困惑しましたと言って帰られました。ごみ収集体制については2極化しています。他市町から見るとすごい先進的だと思います。住人にとっては不便な一面もある。今のやり方がいいという意見も多いです。全ての面からダメなやり方ではないですから。でもダメという意見が増えてきたのは確かです。

●委員

若い世代は「プラスチックは分けて出しても最後には燃やしているから意味が無い」と言う人がいる。

●会長

確かにプラスチックはカロリーが高い。

●委員

私も理屈はわかるが説明に困る。

●会長

リサイクルしやすいプラ容器としにくい廃プラとありますよということ。。

●委員

どうも噂が独り歩きしているように感じる。

●委員

私もそういう話聞いたことがあります。最後には燃やしているっていう噂が独り歩きしている。

分別指導員というのはかなりの数いると思うが、その活用というのはどのようにされているか。私も5年間分別指導員やらせてもらっているが、地区の資源ごみ置場でこれどこへ持って行くの、と積極的に聞かれるようになってきました。個人的には、皆様が言われるように時代の流れであり、もう立ち当番なんて時代じゃない、と言うのはわかるが、テレビやラジオではみんなコミュニケーションがなくて寂しいという話も聞く。その割には地域の役員はやりたくない、ごみ当番はやりたくないと言っている。それが全面的に悪いとは言えないため、みんながみんなやる必要はなく、一歩進んでやれる人たちがやっていける体制づくりも必要なのでは、と思う。

黄色い分別指導員の人に聞けば頼りになるからあの人に聞けば教えてもらえるよ、当番が1人休んでも分別指導員がいるから大丈夫だよ、ということになっていくと思う。そういうのも1つの方法だと思います。

●委員

資源ごみ回収の効果でいえば、いろんな面で昔と比べて本当に良くなっていると感じる。以前は木曾川の堤防にいつも不法投棄があった。江南市は資源ごみ収集よくやっているし、非常にい

い体制だと思っております。ところが時代とともにいろいろ問題点も出てくると思います。例えばリサイクルステーション、江南市はこれだけの10万人に近いのに1箇所しかない。これは少ない。

各市町の収集体制の資料をみると笠松町は2万人の人口でリサイクルステーション3箇所。理由は無人リサイクルステーションを令和3年4月より開設したため。無人である程度うまくいっているかどうか、もう1年間経つため、経過はどうなっているか。もしうまくいっていれば、参考にできる内容ではないかと思えます。それから立ち当番、確かに核家族化、共働き家庭が多くなっております。私が所属している地域では、当番は年に1回です。それでなんとか回っております。年に1回ならなんとか都合がつくと思えます。それに必ず立ち当番同士で話ができる。普段人と人とのふれあいが、疎遠になっておりますが、人と人とのふれあい、それができるわけです。

何もかも効率的にではなく、こういう立ち当番、ましてや地域のごみを減らすための役割でここに人と人とのふれあいまでがさらにできると、これは案外貴重な場かもしれない。非効率だから止めるとかではなくて、年1回くらいなら、そういう場があってもいいのではないかと思えます。ただ地区によっては年1回でなく非常に多かったりする場合については他の面でサポート出来たらいいと感じる。その参考として例えば碧南市と知立市、立ち当番が無しとなっている。有ったものが無しになったにはそのために、それなりの理由があったはずです。おそらく江南市と同じ理由かと思うが、経緯や成果などいろいろ参考にしながら、取り入れるなら取り入れると、いう形をしていくのもいいのではないかと思えます。

● 委員

この会議を受けて、地域の方に話を聞いたら、「考えてくれているんだね」と逆に感謝されました。ですから若い方も含めてアンケートを取ると、意見ももらえるし、書くことによってごみ収集に対する意識も変わってくると思う。先ほどの話でもあったように話をするきっかけにもなる。

● 会長

せっかく貴重な時間ですので、まだ発言されていない方で発言一言でもいいですから、順番に発言していただくとありがたいと思えます。

●委員

立ち当番は、なかなか難しい問題だと思います。立ち当番と市民の方とはその場でコミュニケーションが取れているんじゃないかなと思う。例えば立ち当番がなくなったらどうする、どうなるのかということの前向きに検討されてひとつひとつクリアしていかないといけない。漠然とあれはダメだからこうしろと言うよりもひとつひとつ建設的に前に進んでいかないと、批判だけするならここへ出てくるだけと変わらない、実のある会議にしていきたいと思います。

●委員

立ち当番の問題よく出ていますが、これは無くしてしまうと、その人のごみに対する意識というか、そういうものが分別に対する向上心が欠けていくと思う。当番があれば出てく以上はきちんとやりたいと向上意識を持って行おうと思いますので、やっぱり年に一回くらいであれば出ていけるかなと思います。

●委員

話が反れてしまうかもしれませんが、先日初めて和田町のリサイクルステーションの方にごみを捨てにいきました。係の方がこれはこっちだよと指導していただきながらごみを分別して捨てさせてもらいすごく新鮮な感じがしました。自宅からは距離があるため近所にあつたら助かると感じました。

●委員

お金の問題もありますし、人材の問題もありますし、難しい問題だと思う。それぞれいろんな意見があるため、その中で一番いい方法を集約していくしかない。地域の意見も聞きながら、勉強していきたいと思います。

●委員

警察としての考えを少しだけ、私の地元ではあまり見ない光景なのですが、江南市ではみなさん当番をしてみえる、非常に警察的にもありがたいなと思っています。なぜかという、そこにいるだけで人の目があるということです。悪い奴は人がいないところで悪いことをする。となると、人の目があると、犯罪というのは起きづらくなる。また時間帯が一番ありがたい。児童生徒が登校される時間で非常にありがたく、児童生徒にとっても安心じゃないかと思っています。

個人的に感じていることは、年1回かもしれませんけども、会ってしゃべることによって、地域のつながりというのも出てきます。いろんな意味で繋がりが出てこればお互いの助け合い、そういうのも段々と期待できるのではと思いますので江南市の制度は非常に良い制度だと思っております。負担がないように考えていかないといけないですが、引き続きこの制度は活かしていただきたいと思いますと感じております。

●委員

私の住んでいる地区は昔と比べて家が増えてきたため人数が多いから1年に1回じゃなくて何年かに1度しか回ってきません。月2回黄色い帽子を被った分別指導員と当番の方が、和気あいあいと行ってくれています。これはここだよって親切に捨てる場所教えてくれたりして、たまたま今朝もあったのですが、30分ずつ当番が決まっています班ごとにそういう立ち当番の人たちがみえるからその人たちが仲良く話しながら、問題なく毎月行われていると思います。

●委員

先ほども言いましたけど分別指導員の黄色い帽子、これを有効活用していただけるとありがたいかなと思います。分別の話から地域のコミュニケーションの輪が広がっていきますので、是非とも立ち当番というのは分別指導員がカバーできる分野だと思いますので続けていっていただきたいなと思っております。

●会長

貴重なご意見をお伺いしましてありがとうございます。時間がきましたのでこの件についてはこれでよろしいでしょうか。

意見がありましたら別紙がありますので、ご記入いただいて環境事業センターまたは環境課までお送りいただきたいと思います。

2. そのほかについて事務局から連絡事項などございますか。

事務局説明

- ・フードドライブについて
- ・エコチャレについて

これをもちまして、第3回江南市廃棄物減量等推進協議会を終了させていただきます。

本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。